

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2393300047
事業所名	グループホーム はっぴい

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい (外部評価項目: 2)	評価
	コロナ禍の自粛で、以前のような活発な交流は持てないものの、地域の情報を収集して、参加できる事には積極的に参加し、交流が継続できるように努めている。地域での認知度も高く、災害時の避難場所として依頼を受け、話し合いが進んでいる。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み (外部評価項目: 3)	評価
	コロナ禍で、この1年は、6回のうち3回を书面開催にしている。活発な意見交換の場として活用しており、地域高齢者に関わる情報発信の場としての役割を果たしている。今年度は、ホームを災害時の避難場所として、受け入れの是非について話し合いが進んでいる。书面開催の場合は、資料と共にアンケートを同封し、意見を聞いている。	○
重点項目③	市町村との連携 (外部評価項目: 4)	評価
	運営推進会議には、市の担当者と地域包括支援センターの出席があり、ホームの実情理解を進め、適切な連携を話し合っている。今年度はホームを災害時の避難場所にする話し合いも進んでいる。また、市の担当部署とは、ホームの運営に関する相談・報告を通じ、適切に助言や指導を受け、ホーム運営に反映させている。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映 (外部評価項目: 6)	評価
	昨今は、ホームのコロナ対策・対応についての質問や提案、要望が多くなっている。面会時や電話連絡時に直接話せる機会を作り、内容には真摯に向き合い、対応している。家族の心配に配慮し、SNSの活用も含め、情報提供を多くできるように努め、忌憚のない意見が表出しやすい環境作りにも努めている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【備考欄】

コロナ禍で、この1年は、6回のうち3回を书面開催としている。

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況 (外部評価) が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的 (年2回以上) に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的 (年2回以上) に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	-	-	○	○	○	×	○	○	○	○	○
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	◎	○	◎								